

四国中央市長 篠原 実 様

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望について

新型コロナウイルス感染症対策については、これまで、感染拡大防止と地域経済再生の両立に向けて、本市においては延べ13回、約130億円に上る補正予算を編成し積極的な取組を進めてきたところである。本議会も理事者と情報共有を緊密にし、共同歩調を取りながら議会一丸となって感染拡大防止と市民生活や地域経済の支援に努めてきた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の第3波が到来し、首都圏等における緊急事態宣言や本県でも特別警戒が最近まで続くなど、感染収束の見通しはいまだ立たず、本市においてもクラスター発生の深刻な事例も起きるなど予断を許さない状況が続いている。また、感染拡大と長期化に伴い本市の市民生活や地域経済への影響拡大が強く危惧されている。

こうした中、国においては新型コロナウイルスの感染拡大防止策や経済回復に向けた取組みなどを加速するために第3次補正予算を1月に成立させたところである。

については、このような状況を鑑みて、本市においても改めて多面的な追加の支援策を実行に移すべく、国の3次補正による新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金等の国・県の財源はもとより、危機にある今こそ有事に備えて堅持してきた独自財源の財政調整基金を積極的に活用した財政出動をもって市民に還元するよう、次の事項の支援策について、迅速かつ果敢に講じるよう強く要望する。

記

1. 地域経済への支援

新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響は飲食店をはじめ小売店やサービス業など幅広い分野に拡大していることから地域経済活性化と個人消費喚起を目的とした新たな措置を講じること。なお、既存の支援制度等についても、困窮する事業者へ支援が行き届くように、対象の拡大など実情に応じた柔軟で実効性のある制度となるよう多面的な角度からの検討も行うこと。

2. 伝統産業への支援

紙関連産業の中でも外出自粛や冠婚葬祭の催事の縮小中止などに伴い売上減少の大きな影響が出ている水引等の伝統的な地場産業への支援策を実施すること

3. 医療機関への支援

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを伴う厳しい環境の中、医療の最前線で強い使命感をもって市民の生命と健康を守るべく医療体制の提供に努めている医科・歯科の医療機関に対する支援策を実施すること

4. 福祉施設への支援

コロナ禍の中、高齢者や障がい者などの暮らしと健康を守り支えるために必要不可欠な福祉サービスの提供を行っている福祉施設への事業継続のための支援策を実施すること。なお、感染予防の負担増が続く中、子育て支援の重要な役割を担いながらも国の慰労金給付の対象外となった保育従事者に対する支援についても市独自で特段の配慮をすること

令和3年3月12日

四国中央市議会	議 長	吉田善三郎
	副 議 長	眞鍋 幹雄
	議 員	曾我部 清
	〃	谷 國光
	〃	原田 泰樹
	〃	井川 剛
	〃	山本 照男
	〃	篠永 誠司
	〃	川上 賢孝
	〃	谷内 開
	〃	三宅 繁博
	〃	山川 和孝
	〃	三好 平
	〃	石川 剛
	〃	吉原 敦
	〃	飛鷹 裕輔

四国中央市議会

議 員

眞鍋 利憲

〃 三浦 克彦

〃 猪川 護

〃 杉浦 良子

〃 茨木 淳志

〃 横内 博之